

ライター・川原江里菜さん。

子ども時間を確保することで
母としての自己肯定感もアップ

14時お迎えで 「月イチママ遠足」 始めました

仕事に没頭する日々の中、知らぬ間に出来ることが増えている
子どもの姿を見て焦燥感を覚えたのがこの企画の始まり。
ママでも『早お迎え』を実践して、一瞬の子育て期を楽しみたい!
そんな思いから始めた「月イチママ遠足」を大公開します。

撮影/杉本大希 取材・文/川原江里菜
デザイン/Permanent Yellow Orange 編集/西脇治子

Profile

4歳の男の子ママ。2年前からつくば市に移住し、自然に囲まれながら伸び伸びと子育て中。ライター業をこなす傍ら、息子との時間を確保するために、月1で早お迎えを実践。

へんしんバイクC14 オープン価格(ビタミンファクトリー)

成長の瞬間を見逃してはいるんじゃないかな…
そんなコンプレックスを感じていました



息子はこの春から幼稚園の年中さん
に。知らぬ間に喋りが上手になつ
たり、制服の小さなシャツのボ
タンの掛け外しが出来るようになつ
ていて…。仕事に熱中するあまり、
子どもの成長を見逃しているのでは
と焦りを感じることがありました。さ
らに幼稚園のため、早お
迎えの14時帰宅のお友だちもいるこ
とから、「今日は早くお迎えに来て!」
と毎日をこねるよう。そこで、毎
月息子と2人で過ごす「遠足デー」
を実施。早めに仕事を切り上げて14
時にお迎えに行き、公園で遊び倒す
のが定番に。息子の成長を間近で感
じられるこの時間が愛おしく、自分
の原動力にもなっています。

自転車練習後にピクニックで
チルタイム。息子の大好物の
パンケーキをティクアウトして、一息つくこの時間も至福
のひと時。褒めて伸びるタイ
プなので「すごく上手だったね
～！」とおだてまくります(笑)。



KAWAHARA

「今日はママち
一緒に遊ぼうねー！」

早お迎えの日は、
「ママ～！」と普段より満面の笑みで駆け寄ってきてくれるのも母的ご褒美の瞬間。幼稚園での出来事を話しながら、一旦自宅へ帰宅して、準備次第公園へGO！

「時間と気持ちに余裕があつたらな…」といつも思っていたこと

全部やつてみた！

水辺の生き物に興味津々で、アメンボやメダカなどを観察。メダカを網で掬い上げたら、その後はきちんとリリースするのがお約束。命の尊さを伝える貴重な機会もあります。



まずは公園の水辺で
アメンボとメダカ観察

仕事を終えて
14:00に園へお迎え！

やつた～



自転車練習にも
補助輪なしの
チャレンジ！

へんしんバイクC14 オープン価格(ビタミン
ファクトリー)



アリ、ダンゴムシ、てんとう虫…
お次は芝生エリアで
思う存分 昆虫採集

この春からストライダーを卒業し、14インチの自転車にトライ！ゆっくり練習に付き合えるのも、時間と気持ちに余裕がある14時お迎えだからこそ。徐々に乗れるようになって、楽しむ姿に私も嬉しさがひとしお。



公園の後は、親も子も満たされた遊具併設の本屋さんへ。「これよんでも～！」と持ってくる絵本の興味趣向が変わっていたりと、さりげない成長を垣間見れる貴重な時間です。その後は2件目の公園で体力発散…！

夕食も2人で外食して
ママ遠足、完結！

また来ようね～

夫の帰宅が遅い日は、そのまま外食することも。普段は仕事をしながら夕飯を済ませてしまうこともあるから、「今日は楽しかったね！」と2人でゆっくり夕飯を食べるこの時間が幸せ。



kitchen Soya

豆腐などを使用したメニューを取り扱う家庭的なレストラン。化学調味料や冷凍食品は一切不使用。ママも子どもも満たされるヘルシーな料理が魅力。



TSUTAYA BOOKSTORE
常総インターチェンジ

「親と子」「生活」「食」をテーマにしたライフスタイル提案を行う複合型書店施設。ブック＆カフェ内外には親子で楽しめる遊び場などが充実。

住所：茨城県常総市むすびまち3